

【編集後記】

《21生》

人数が少なからうと、時間が足りなからうと、それでもそれぞれの持ち味を出せたということが、飛翔第79号の特徴ではないのでしょうか。特に出だしが遅かった分、テスト期間にまで支障を来したところは、編集長の私の計画性の無さが大きな原因です。すみませんでした。そして、取材に協力して下さった皆さん、本当にありがとうございました。何かと不手際が多く、今回は反省点ばかりが思い出されますが、このように無事発行できたのは、皆さんのおかげです。

しかし、この飛翔という経験は、何事にも代えがたいものであることには間違いありません。失敗をした分だけ成功もあり、自分が思い描いたものを形にするクリエイティブな活動です。これからも飛翔をよろしくお願いします。

林 田 啓 誉

皆さんは、twitter、mixi、facebookやってますか？僕はやってません。今回の企画で、それらにちょっとだけ触れられて、よかったと思います。来年の飛翔は一体どうなるのかな、と思います。

久 住 忠 彦

今回は編集委員4人からのスタートということで、正直どうなることかと不安でいっぱいでした。

私は自宅生だし、地元でバイトをしている塾では、講師の引退に伴ってシフトも増え、編集委員のみんなには迷惑をかけたと思っています。

でも今回の編集作業を終えて、やはり取材で得るものはとても大きいし、やればできるのだということを改めて実感させられました。

2年も関わってきて未だに半人前な私と言えることではないかもしれませんが、やってきて本当に良かったと思います。

これからも飛翔が引き継がれ、編集委員や読者にとって何かを得られる存在であることを願っています。

平 野 詩 歩

《22生》

僕はOBOG紹介のページを担当しました。アポ取りから記事の構成までほとんど一人で担当させていただき、いい経験になりました。また直に卒業生の方たちとお話をするのができたので、これからの大学生活に直結するアドバイスも得ることができたと感じています。取材を引き受けて下さった皆様方、どうもありがとうございました。そして編集に関わった皆様方、お疲れ様でした。

井 上 知 紀

今回は助っ人として入りました。担当の特集では平野先輩にお世話になりました。久住先輩は掲示板という画期的な企画を考えてくれたし、林田先輩はものすごく忙しそうだったけど、全体をしっかりとまとめてくれました。そして唯一の同級生井上君。個人名を出したいがためにこれ書きました。

— 恩 田 怜 —

《教員・事務の方々》

今号の発行にあたっては、少ない編集委員で企画、取材、執筆、編集と大変だったことと思います。締め切りに間に合うのかどうか心配でしたが、それも杞憂に終わりました。今回の特集は、近年問題となっている学生の「就活」に関わるものですので、きっと多くの人に読んでもらえるだろうと期待しています。編集委員のみなさん、本当にご苦労さまでした。厳しい状況を乗り越えたことは、大きな自信になったことでしょう。

— 青 木 利 夫 —

今回の飛翔は、いつになく少ないスタッフで編集されました。大変だったろうけれど、小回りが利いて、それぞれのスタッフの持ち味が出せた部分もあるのでは？ 記事を書くのは、他者の視点で世界を見つめるよい機会です。来年度はもっとたくさんの学生が編集にかかわることを期待しています。

— 入 戸 野 宏 —

今回の特集は「就活」でしたが、少人数で試行錯誤しながら飛翔を作り上げた経験は確実に編集委員の“肉”となり、どんな道に進んでも生かされる自信と力になるでしょう。多くの総科生にその魅力が伝わって編集委員が増えてくれれば良いですね！本当にお疲れ様でした。

— 山 本 真 帆 —



**編集室
引っ越しました！**

編集員 求む！

私たちと一緒に「飛翔」の編集作業をしてみませんか？取材から記事の執筆まで挑戦できることはたくさんあります。もし興味を持たれたらメールや編集室まで。

また、「飛翔」をよりよくするためのご意見・ご感想もお待ちしております。

広島大学総合科学部・総合科学研究科

〒739-8521 東広島市鏡山1丁目7番1号

飛翔バックナンバー : <http://www.hiroshima-u.ac.jp/souka/1/5/>

飛翔メールアドレス : Hisyo1@hiroshima-u.ac.jp

編集室へのアクセス : 総合科学部管理棟 3階 階段そば